

平成17年度決算について

国立大学法人東京学芸大学は、平成17年度の財務諸表及び決算報告書を文部科学大臣に提出し、平成18年9月1日付けで承認を受けましたので、ここに公表いたします。

この財務諸表によりますと、貸借対照表では資産合計が約1千697億円、負債合計が約58億円、資本合計が約1千639億円となっております。また、損益計算書では経常収益合計が約125億3千8百万円、経常費用合計が約123億2千2百万円、当期総利益が約2億1千7百万円となっております。この当期総利益2億1千7百万円は、授業料及び入学料などの増収と人件費の抑制や一般管理費などの経費節減に努めた結果生み出されたものです。

ご承知のように国立大学法人は、国からの運営費交付金と授業料などの自己収入を主な財源としておりますが、この運営費交付金には毎年一定の効率化係数が掛けられ、本学の場合には毎年約7千万円ずつ減少し、現在の中期計画期間の最終年度であります平成21年度には対16年度比で約3億5千万円も減少することになります。本学は、こうした厳しい財政状況のなかでも引き続き経費の節減や外部資金の獲得による自己収入の拡大に努めてまいります。また、法人化後に新たに認められた目的積立金を活用するなどして、効果的な大学運営を図り、教育研究水準の維持と更なる充実・発展を図るよう努めてまいります。今後とも、皆様方の幅広いご支援とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

平成18年9月1日

国立大学法人東京学芸大学長

鷺山 恭彦